



ひと・もの・こととの出会い ～体験学習の大切さ～

教務主任 齊木 茂美

コロナ禍が明け、以前の日常生活が戻ってきました。学校でも、できなかったことができるようになり、子供たちの学びにより影響を与えています。特に、地域に飛び出しての体験学習が十分にできるようになったことを嬉しく思います。

私は、昨年度の学校だよりで本校の課題として、「地域や人やものとの交流に消極的であること」を挙げ、多くの「ひと・もの・こととの出会い」やその経験の積み重ねが、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」「地域とつながる力」となると書きました。そして、それらの力を育むのに欠かせないのが体験学習だと考えています。

2学期、私は、担任する2年生と地域探検に出かけました。公園や公民館、りんご農家、神社、餅屋を探検し、実際に見たり活動したりする中で、子供たちは地域のよさを体感しました。また、探検先で出会った人にインタビューもしました。この探検を通して私は、探検を重ねることにインタビューの質が上がっていることを実感しました。何を質問すれば自分たちの疑問が解決するのか考える力を、体験を通して獲得したのです。他の学年の実践例にも触れてみたいと思います。

1年生は、学校周辺の田畑や公園に出かけて秋の虫や植物を見付けるなど自然と触れ合い、季節の移り変わりを体感しました。3年生は、地域の名産であるりんご農家での収穫体験やスーパーマーケット見学で、働く人の知恵や工夫、苦勞、地域への思いについて学びを深めました。4年生は、「いのちの授業」で12組の赤ちゃんやお母さんと触れ合い、家族の深い愛情や命の尊さを体感しました。5年生は、田植えや稲刈り体験を通して、昔の稲作の工夫や苦勞を知り、食への感謝の気持ちを高めました。そして、6年生は、立山登山を通して、仲間と励まし合い、困難を乗り越える心や体力を獲得しました。



さて、体験学習は、日常の授業でも多く取り入れています。例えば、算数科では「具体物を数える・並べる・測る・重ねる」等の操作活動で、理科では観察や実験で、外国語では英会話での人との交流で。実際に体験したことは記憶に残りやすく、経験値が高まり、次の学習や学校生活で生かせることが多いのです。

学校では、これからも多くの「ひと・もの・こととの出会い」の経験の積み重ねていき、子供たちも学力や生活力（上記の4つの力）の向上に努めていきたいと思っています。

11月下旬～12月の主な行事予定

11月	12月
28日(火) 6年生 薬物乱用防止教室	1日(金) 個別懇談会 3日目
29日(水) 個別懇談会 1日目 生活振り返り週間～6日目	5日(火) イルミネーション点灯式 学習の確かめ実施期間～12日(火)
30日(木) 個別懇談会 2日目	8日(金) フレスマ集会(情報)
	13日(水) 4年生 点字教室
	20日(水) 避難訓練(不審者対応)
	21日(木) 給食最終日
	22日(金) 終業式

～3年生の取組より～

10月はりんごの収穫体験や、スーパーマーケットの見学など、様々な体験をする機会がありました。りんごの収穫体験では、おいしいりんごの見分け方を教えていただいたり、りんごの育ち方について学習したりしました。子供たちは、おいしいりんごを選ぼうと、真剣な眼差しで収穫していました。総合の学習で、りんごについて学習していたこともあり、1学期に観察していたときの様子と比べながら、りんご園を楽しんでいる様子でした。スーパーマーケットの見学では、普段は見ることができないバックヤードを見せていただいたり、お客さんのことを考えた工夫がたくさんあることを教えていただいたりしました。初めて見る機械に興味津々な子、ドキドキしながらもお客さんやお店の人に質問しに行く子等、自分が知りたいと思うことを自ら学ぼうとしている様子を見て嬉しい気持ちになりました。そして、目を輝かせて話を聞く子供たちの姿から、体験することはとても大切なことだと改めて感じました。

実際に見たり聞いたりしたことは、子供たちの心の中に残り、大切な思い出となっていくと思います。何にでも興味をもって楽しく取り組む3年生の子供たちの思いを大切に、今後も子供たちと共に様々な活動に取り組んでいきたいです。



10月の様子より

学習発表会・清流フェス 10月22日(日)

歌やダンス、合奏、朗読等、どの学年もこれまでの練習の成果を発揮し、堂々と表現する子供達の姿が輝いていました。多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。

